EUROPEAN PATENT OFFICE

atent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

59041155

PUBLICATION DATE

07-03-84

APPLICATION DATE

01-09-82

APPLICATION NUMBER

57150757

APPLICANT: HITACHI LTD;

INVENTOR:

TAMURA HIROSHI;

INT.CL.

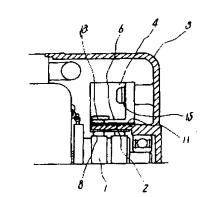
H02K 13/00 H02K 5/14

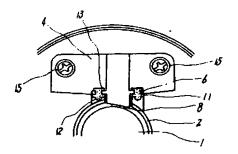
TITLE

CURRENT COLLECTING RING

PROTECTING DEVICE FOR

GENERATOR OF VEHICLE





ABSTRACT :

PURPOSE: To obtain a completely sealing structure by engaging the recess groove of a brush holder in contact with a strip projection formed on an elastic sheet.

CONSTITUTION: A notched groove is formed on part of a cylindrical projection 2 of a bracket 3 which protects a current collecting ring 1, and a brush holder 4 which contains a brush 8 in contact with the ring 1 is secured fixedly to the groove. A recess groove formed on the collar 6 of the holder 4 is engaged with a strip projection 12 formed on an elastic sheet 11 which is interposed between the collar 6 and the upper hole of the groove of the projection 2. A hook 13 which is formed on the sheet 11 is engaged with the groove which is formed on the collar 6 of the holder 4.

COPYRIGHT: (C)1984,JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑩特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59-41155

⑤ Int. Cl.³H 02 K 13/005/14

識別記号

庁内整理番号 6435-5H 7052-5H

❸公開 昭和59年(1984)3月7日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

砂車輛用発電機の集電環保護装置

②特

額 昭57—150757

20出

願 昭57(1982)9月1日

⑦発 明 者

田村博 勝田市大字髙場2520番地株式会 社日立製作所佐和工場内

⑪出 願 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区丸の内1丁目5

番1号

邳代 理 人 弁理士 髙橋明夫

明 制 🔋

発明の名称 車輛用発電機の外電環保護装置 特許請求の範囲

1. 集電報を保護するブラケットの円筒状突出部の一部に切欠將を設け、前能集電機に当接する刷子保持器を前記切欠件に固設してなる車輛用発電機の集電環保護装廠において、前配別欠件の上部開開の周線端面に当接する如く鍔部を設け、前配鍔部にの周線端面に当接する如く鍔部を設け、前配鍔部下面と前配開口部周線端面との間に弾性体シートを狭持させ、前配弾性体シートの下面には前記凹状体に嵌合当接する如く帯状凸出部を設けたことを特徴とした車桶用発電機の外電線保設

2. 前配刷子保持器の鍔部に切欠神を散け、前記 弾性体シートの開口部両端にフック状突出部を形成し、前記鍔部に設けられた切欠神に篏合することにより、前配弾性体シートを前記刷子保持器に 協設させてなる特許別求範囲第1項配収の東補用 発 収機の集 1 環保機装備

発明の詳細な説明

本発明は車輛用発電機(以下発電機と呼ぶ)の 集電環保護装置に関し、特に耐環境性が考慮され た発電機の集電環保護装置に関する。

従来発電機の樂電璟を保護する方法としては、 第1~2図に示す如く、集電泵1を保護するため 円匍状突出部 2 がリャプラケット 3 に一体に形成 されており、前配円筒状突出部2には刷子保持器 4を配設するための切欠酶5が形成されている。 前記刷子保持器4には前配切欠將5の開口部を被 優する位胤に鍔部6が形成されており、集電墩と 刷子に対する防露等の耐環境性を与えている。し かし前記刷子保持器4は前記プラケット3に舳方 向に締結固設されるため、組立構造上前記鍔部 6 と前記突出部2の上端面との間には間隙部7が生 ずるととが避けられなかつた。とのため瑕境条件 の厳しい場所、特に塩客の影響を受け易い場所等 で本発電機を使用する場合には、このような構造 では射環境的が充分でなく、集電環1の発銷、刷 子8の異常摩耗の増加等が生じ、実用上穮々の問

題があつた。

本発明は上記事実に鑑みてなされたものであり、 耐瑕境性に使れた紙魚環保酸装能を提供するもの である。

本発明は集亀環を保設するプラケットの円筒状 突山部の一部に切欠器を散け、前記集電線に当接 する刷子を収納する刷子保持器を前記切欠解に固 散してなる発電機の巣鴨墩保護装置において、前 記刷子保持器の下部に鍔部を形成し、その鍔部が 前記切欠隣の上部開口部の周線端面に対向当接す る位置になるようにし、前記開口部の周線に沿つ てその端面上に凹状欝を形成し、さらに前記鍔部 下面と前配開口部周禄端面との間に弾性体シート 状のパッキングを挟持させ、前記パッキングの下 面に前記凹状構に嵌合当接する如く帯状凸出部を 形成してシールを確実にし、さらにまた前配刷子 保持器の鍔部に切欠部を設け、前記パツキングの 開口部両端にフック状突出部を配設して、前配鍔 部に設けられた切欠器に嵌合して組立時のパッキ ングの脱落を防止するようにしたものである。

されるようになつている。

上記の各部材を組立るには先ず前記弾性体シート11に形成されている前記フック状突出部13 を、前記鍔部6に形成されている切欠得10に嵌合させる。この際前記フック状突出部13の効果により前記弾性体シート11の脱落が防止でき組立性が向上する。次に前記弾性体シート11が嵌合装着された前記刷子保持器4を、前記プラケンとの間段けられた取付孔14にボルト15によのて間設すれば、前記円筒状突出部2の開口ができる。 は、前記刷子保持器4と前記円筒状突出部12が低合当接して、前記刷子保持器4と前記円筒状突出部12が低

上記のように本発明は集電環を保護するブラケットの円筒状突出部の一部に切欠俗を設け、前記 集電理に当接する刷子を収納する刷子保持器を前 記切欠機に固設してなる発電機の集電場保護装置 において、前記刷子保持器の鍔部に形成された凹 状褥と、鍔部と円筒状突出部の切欠海の上部刷口 以下本発明に係る発電機の兼能取保職装置の実施例を図面を参照して説明する。

第3~7図に示される実施例は第1~2図に示 される従来の集電環保験装置と同様に、集電環1 を保護するための円筒状突出部2がプラケット3 に一体に形成されており、前配円筒状突出部2に は刷子保持器 4 を配設するための切欠器 5 が形成 されており、さらに前記刷子保持器4には前記切 欠 帯 5 の 開口 部 周 縁 端 面 1 6 に 対 向 当 接 す る 位 質 に鍔部6が形成されている。前記開口部周縁端面 16上には軸方向に断面半円状の凹状酶 9 が形成 されており、また前記刷子保持器4亿形成されて いる鍔部6の開放端には切欠講10が形成されて いる。前記開口部周録端面16と前記鍔部6との 間には弾性体シート11が狭持されており、前記 弾性体シート11の下面には前記凹状務9に嵌合 当接する如く、断面半円状の帯状凸出部12が形 成されている。前記弾性体シート110崩口部両 端にはフツク状突出部13が形成されており、前 記鍔部6の開放端に設けられた切欠裤10に嵌合

部との間に狭持された弾性体シートに形成された 帯状凸出部とを嵌合当接させることにより、完全 なシール構造が得られる優れた効果を有する。ま た刷子保持器銅部に切欠滞を設け、この酶に弾性 体シートに形成されたフツク部を篏合萎着するこ とによつて、脱落の心配のないシート付刷子保持 器が形成できる効果も有する。

図面の簡単な説明

第1,2図は従来の集電環保護装置を示す一部 断面側面図および正面図、第3~5図は本発明に 係る集電取保護装置の実施例を示す各部品の斜視 図、第6,7図は本発明の実施例を示す一部断面 側面図および正面図である。

1 … 乗電環、 2 … 円筒状突出部、 3 … フラケット、 4 … 刷子保持器、 5 … 切欠 桝、 6 … 鍔部、 7 … 間 隙、 8 …刷子、 9 … 凹状 桝、 1 0 … 切欠 桝、 1 1 … 弊性 体シート、 1 2 … 帯状凸出部、 1 3 … フック、 1 4 … 収付孔、 1 5 … ボルト、 1 6 … 閉口部 周線端面。

代理人 升理士 高福州海南

